

伊都キャンパスの生活状況等に関するアンケート結果の概要

平成22年2月23日
福利厚生施設WG

1. 調査の目的

伊都キャンパスで勉学している学生のキャンパスライフの状況等に関する意向調査を実施し、その結果を基にして、伊都キャンパスにおける学生生活支援施設（食堂・課外活動施設等）の運営及び学生寄宿舍の整備等への活用並びに周辺地域での学生用宿舎の建設促進を図るためにアンケートを実施するもの。

2. 調査対象

現在伊都キャンパスで勉学している学生

- ・全学教育（教養教育）を学んでいる学部学生
- ・理学部（数学科）、工学部及び21世紀プログラム課程の2年次以上の学生
- ・比較社会文化学府、数理学府、工学府、システム情報科学府、統合新領域の大学院生及び研究生ほか

3. 調査期間

平成21年12月9日（水）～平成21年12月25日（金）

4. 調査方法

無記名によるアンケート

5. 回収結果

- (1) 対象者数 7,738人
- (2) 回収数 1,312人（回収率 17.0%）
- (3) 回収内訳
- | | | | |
|------|-------------|------|-------------|
| 学部学生 | 819人（62.4%） | 修士課程 | 349人（26.6%） |
| 博士課程 | 118人（9.0%） | 研究生等 | 26人（2.0%） |
- ※内、外国人留学生 229人（17.5%）
- (4) 回答者の性別
- 男 84% 女 16%

6. アンケート回答結果の概要

(1) 主な通学方法について

- ① 伊都キャンパスでは、車・バイク・自転車・徒歩での通学者が68%と多く、バス等の公共交通機関の利用者は32%である。
- ② 公共交通機関の利用は、男子学生26%、女子学生57%であり、女子学生のほうが多い。

(2) 通学時間について

- ① 伊都キャンパスでは、通学時間が30分未満の学生の割合が64%である。このことから、キャンパス近郊（福岡市西区・前原市）に居住している学生が多いことが分かる。
- ② 通学時間が1時間以上の学生は18%であり、福岡市西区並びに前原市以外からの通学の方が多くの時間を費やしている。
- ③ 公共交通機関の利便性向上についての要望として、夜遅くまでの運行が20%、土日祝におけるバスの充実が18%であり、鉄軌道系の導入の要望については平日におけるバスの充実と同じく16%となっている。

(3) 住居について

- ① アパート等（学生寄宿舍を含む。）に居住する学生の割合は82%であり、また自宅等に居住する学生の割合は18%であった。
- ② アパート等（学生寄宿舍を含む。）に居住する学生の割合は、男子学生が82%、女子学生が77%で、あまり差はない。

(4) 部屋代（1ヶ月）について

- ① 4万円以上5.5万円未満の学生の割合は、50%であった。
- ② 外国人留学生は、3万円未満の割合が22%で、家賃なしと合わせると全体の34%となり、部屋代に経費をかけていない。

(5) キャンパス移転に伴う転居について

- ① 62%の学生が既に転居を完了していると回答している。転居しないと答えた割合は32%となっている。
- ② 転居を希望するエリアは、福岡市西部（周船寺駅周辺）が36%で最も高く、次いでJR九大学研都市駅周辺が13%となっている。
- ③ ルームシェアタイプの住居への入居（転居）については、「検討していない」と答えた割合が76%であり、あまり検討されていない。

(6) 学生寄宿舍ドミトリーへの入居申請について

- ① 入居を申請した割合は、12%である。
男女別では、男子学生のうち10%が、女子学生のうち21%が申請している。
また、外国人留学生は26%が申請したと回答しているが、留学生以外の申請者は9%と低い。
- ② 入居申請の理由については「住居費が安い」が49%で一番高く、次いで「大学に近いため」が25%となっている。

(7) キャンパス生活について

- ① 伊都キャンパスでの学生生活に「非常に満足している」及び「満足している」割合は29%である。また、「非常に不満である」及び「不満である」と回答した割合は30%である。
- ② 男女別では、「非常に満足している」及び「満足している」割合は、男子学生28%、女子学生33%であり、「非常に不満である」及び「不満である」と回答した割合は、男子学生31%、女子学生24%となっている。
- ③ 外国人留学生（単身者）は、「非常に満足している」及び「満足している」割合は34%、「非常に不満である」及び「不満である」と回答した割合は、24%となっている。
- ④ キャンパス周辺に必要な施設については、「飲食店（レストラン等）」が881件で最も多く、次いで「娯楽施設」と「コンビニ、スーパー」が同数で695件と多く、商業施設の要望の高いことが分かる。
- ⑤ 駐車場の入構課金化（有料）の大学生活への影響については「支障がある」は14%で、「支障がない」が22%となっている。
- ⑥ キャンパスでの食事について、「主に大学内の食堂を利用している」が50%で最も高かった。また、「ほとんど利用しない」は11%であることから、90%近くの学生が大学構内の生協食堂等を利用していると推測できる。